

「造影 CT を用いた脾臓肝臓容積比と脾静脈門脈径比の検討」について 研究協力をお願い

【研究目的】

肝機能障害が進行すると肝臓は萎縮し脾臓は腫大すると一般的に言われています。しかしながら、実際の生体において脾臓肝臓容積比の正常値、年齢に伴う変化、脾静脈門脈径比との関係についてはよくわかっておりません。そこで、日常診療で施行されている造影 CT を画像解析処理し、脾臓肝臓容積比と脾静脈門脈径比の関係や年齢・肝機能との関係について、評価・検討を行い、診療に役立てることを目的としています。

【対象】

2017 年 4 月より 2018 年 3 月までに造影 CT 検査を施行した方です。

【方法】

対象とされた方の CT 撮影情報より画像解析処理装置ワークステーションを用いて脾臓肝臓容積比と脾静脈門脈径比を計測し、性別、年齢、背景疾患、肝機能障害の程度との関係を統計解析いたします。

【研究期間】

2017 年 4 月より 2 年間です。

【個人情報について】

当研究のデータ収集に際しては、対象者を特定しうる情報は院内で厳重に管理し、個人が同定されないように匿名化した上でデータ収集、検討を行います。また、研究の成果が発表される場においても、対象者が特定されることはありません。

本研究は、日常の一般診療として行われたものの観察研究であり、新たに直接的侵襲を付加するものではありません。さらに、新たに費用が発生することはありません。

また、本研究は、当院の倫理審査委員会の承認を得ております。

皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願い致します。当研究に関してご質問がある方や、対象となる方でご自身のデータが研究に利用される事を拒否される場合は、お手数ですが平日の 9 時から 15 時の間に下記医師もしくは技師までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

田野病院外科 医師 近森文夫 放射線部技師 中石
電話 (0887) 38-7111 (代表)